



令和8年7月24日

都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進事業の採択結果を公表します

令和8年度予算都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進事業について、文部科学省に設置された選定委員会における審査を踏まえ、本事業の採択案件を決定しましたのでお知らせします。

1. 事業の目的

本事業（都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進事業）は、都市・地方の持続的な成長・発展に向け、都市部大学と地方の高等教育機関・地方公共団体等との間で交流・連携等を推進し、都市部大学の学生の教育研究フィールドを広げ、地域での多様な経験機会へのアクセスの充実を図るとともに、地域アクセス確保にも寄与する地域での高等教育の場の充実や、都市・地方の人材交流・循環の促進、関係人口の増加を図ることを目的としています。

2. 審査状況

令和8年4月24日～5月29日までの期間にて公募を行い、6件の申請を受け付けた後、「都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進事業選定委員会」における審査を踏まえ、別添のとおり5件を採択しました。具体的な採択一覧については別紙1をご覧ください。

3. 事業内容

事業内容の詳細は別紙2をご覧ください。

<担当>

高等教育局大学振興課地域大学振興室

室長補佐 福田 翼（内線 5837）

支援係長 川又 健正（内線 3667）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-3667（直通）

令和8年7月24日

都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進事業
申請・採択状況について

(1)申請件数

件数	6
----	---

(2)採択件数

件数	5
----	---

(3)採択一覧

事業者名	構想名
中央大学	地方公共団体及び地方において中核的機能を担う大学との協働による「地域連携学修プログラム」の推進
立教大学	都市と地方の学生の共修による多角的な視座の獲得と共修文化の全学的な波及 ～立教サービスラーニング(RSL)×リーダーシップ教育の更なる発展へ～
電気通信大学	越境共創チャレンジプログラム
千葉大学	総合知の還流による「都市・地方共創教育モデル」の構築
白梅学園大学	子ども・子育て支援を中心としたDGXによる地域課題解決型 都市－地方連携教育プログラム

都市と地方の連携を通じた国内留学等の促進

◆背景・課題

- 大学進学希望者に対する大学入学定員（大学進学者収容力）が、東京都をはじめとする大都市圏で100%を超えている一方、多くの道県で100%未満となっているに加え、地方から東京都をはじめとする大都市圏への進学者・就職者の流入傾向が続いているなど、依然として都市と地方間の様々な課題が生じている状況。
- こうした状況を踏まえ、都市と地方双方の持続的な成長・発展にむけて、地方と都市部の高等教育機関間での交流・連携等を推進し、地方への新たな人の流れを創出することが必要。

◆事業内容

地方への人の流れの創出につながる国内留学等の取組を支援し、地域の高等教育機関や地方公共団体との交流・連携を推進することで、都市と地方の人材交流や循環を促進し、地方における関係人口の増加を図る。

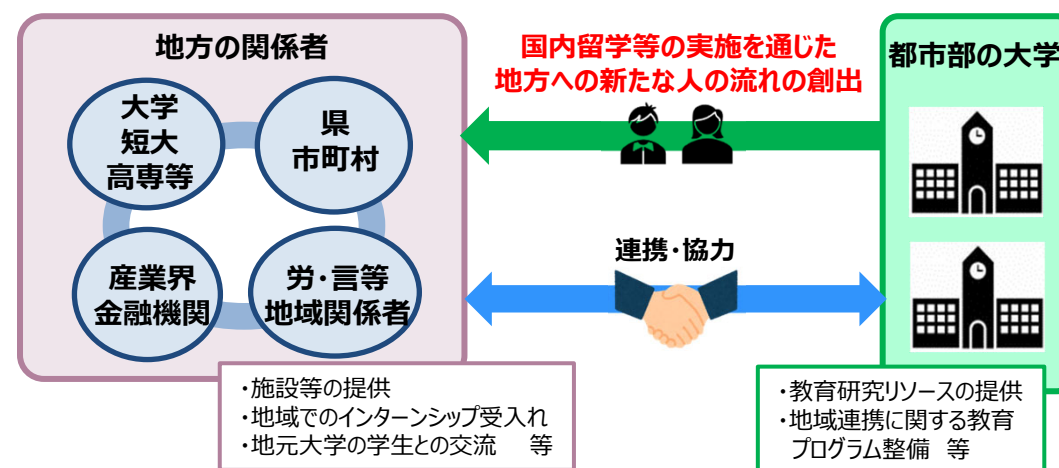
- 都市部の高等教育機関において、地方が抱える社会問題や課題に対する理解を深め、地方での実習等を通じて課題解決に取り組む教育プログラムを構築。
- 都市部の高等教育機関と地域の関係者が相互にリソースやフィールドを提供し、持続的な人材の交流・循環に向けた緊密な連携・協力体制を構築。
- 教育プログラムの実施を通じて都市から地方への新たな人の流れや結びつきを創出し、関係人口の増加を図る。

【支援対象】国公立の大学・短期大学・高等専門学校

【事業期間】3年（令和8年度～令和10年度）

【件数・単価】3件×2,500万円程度

【取組イメージ】



アウトプット（活動目標）

- ・本事業の採択数

短期アウトカム（成果目標）

- ・構築された教育プログラム数

長期アウトカム（成果目標）

- ・採択機関における地方への学生派遣数
- ・学生の受入に協力する地方公共団体数